

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

2~3頁 社会と共に歩む教会 実例リスト

4~5頁 侍者合宿、中学生会合宿

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



共同体の福音化

教会共同体は福音化されねばならぬ。教会は自己刷新されねばならぬ(教区ビジョン)。では福音化された教会って?

そこでまず聖書に尋ね求めます。
即ち聖書の中の旅。

するとコリントの教会に行き当たります。

コリント十二章～十四章
十二章は神祕体の教えです。

でも十二章～十四章を通して、
読んでみて下さい。

さて神祕体の教えの中で鍵言葉
がある。

例えば教会では「お前は要らぬ」と言つてはならず、「弱い部分がかえつて重要」、劣っている部分が大切にされる等です。

その他、素晴らしい鍵言葉を搜し出してみましょう。教会の福音化は、聖書の中に答を:

(写真は、侍者合宿に参加した子どもたちの聖香油ミサ後のものです)

**6
2003**

社会と共に歩む教会 こんなことをやっています

編集部では、京都教区における「二十一世紀の優先課題」の五項に沿うものとして、信徒が取り組んでおられる「社会とともに歩む」実例のリストを各ブロックにお願いしました。今回から、提出されたものを簡潔にまとめて、順次ご紹介します。(今回はその一部です)

活動内容	形態	所属
世界平和を祈る市民の集いに参画	教会	希望の家の手伝い
世界平和を訴える「ふりそでの少女」像建立	個人	命の電話カウンセラーの奉仕
地域の福祉を地域で守り地域で進める運動	個人	健光園の手伝い
国際交流会活動	個人	社会福祉協議会支援
ネバール人民への物資による支援	教会	老人ホーム支援
幼稚園の保護者のクリスマス会	綾部教会	京都マックへの献金
聖母像を車でひき、地区内を行列	教会	ユニセフへの献金
滞日外国人のための英語ミサ	教会	アフガニスタンへの献金
京都ライトハウスへの手引、録音	西舞鶴教会	W.S.ひょうご(D.V.被害女性のかけこみ寺)への 献金
希望の家配食サービス	衣笠教会	マイセア国際里親の会への献金
整肢園食事の介助、諸手伝い	教会	NGO神戸外国人救援ネットへの献金
地区の独居老人の訪問	教会	ライトハウスへの献金
地域自治会の配食サービス	山国教会	盲導犬協会への献金
心のともしびへの献金	小山教会	命の電話への献金
ユニセフなどへの献金	西陣教会	授産施設の製品の販売協力
ベルマークや切手の収集の協力	教会	盲導犬育成のためのチャリティコンサート
地域の子どもクリスマス会	個人	希望の家近隣地区の配食
地域の独居老人の集いに参加	個人	心の相談室(京都府南部地区)参加
夜回りの会(ホームレス支援)に協力	個人	老人ホーム神の園のおしめ切り
街頭募金・N.H.K.歳末助け合い	個人	六十五才以上老人への給食
古切手の回収	グループ	クリスマス・キャロル(重度身体障害児の病院) 地域住民の安否確認(タンボボネット)
割り箸の回収	田辺教会	西院教会

特別養護老人ホームで話し相手

特別養護老人ホームでクリスマスの集い

ブラジル・フマニタスへ古着を送る。そのため

フリー・マーケットやミニバザーを開催

ホームレスの方への援助

身体障害者施設支援のお茶の販売

ボイスカウト・ガールスカウト支援

教会学校・夏季学校支援

屋外掲示板ボスター作製

教会広報誌作成手伝い

傾聴ボランティア(お年寄りのお話を個別に聞く)

希望の家の手伝い

のぞみの園の手伝い

障害者・病人への聖体奉仕、病院訪問、戸別訪問、電話訪問、お便り訪問

教会から離れている方のために復活祭、クリスマスの案内、個別訪問、お便り訪問、電話訪問、広報誌郵送

近隣・求道者・転入者の方のために、心とともに配布、行事のチラシ作成・配布

クリスマスに近隣、駅、商業施設でキャロリング石けんつくり、買い物袋普及で水質やゴミ問題の意識向上

環境の諸問題の理解を深める

生活の見直し、工夫、再利用で環境を考える

地球温暖化の仕組みを学び、広げていく

牛乳パックによる手漉きハガキつくり

養護老人ホームにおいて音楽による交流

春秋にお年寄りを巡礼と郊外での食事に案内

教会

大津教会

京都夜回りの会への支援
希望の家の手伝い

のぞみの園

金ヶ崎への支援

切手、テレホンカードなどの回収

金ヶ崎への支援

祭具関係品の洗濯・補修

祭具関係品の洗濯・補修

教会内の点検補修

教会内の点検補修

教会内行事の応援

教会内行事の応援

祭具関係品の洗濯・補修

祭具関係品の洗濯・補修

病院訪問などの準備応援

病院訪問などの準備応援

味噌づくりの受講、体験

味噌づくりの受講、体験

味噌づくりの受講、体験

県内司祭、シスター、信徒の祈りと分かち合い

県内司祭、シスター、信徒の祈りと分かち合い

カトリックの信徒、プロテstantの司祭・信者

一同による祈りと分かち合い

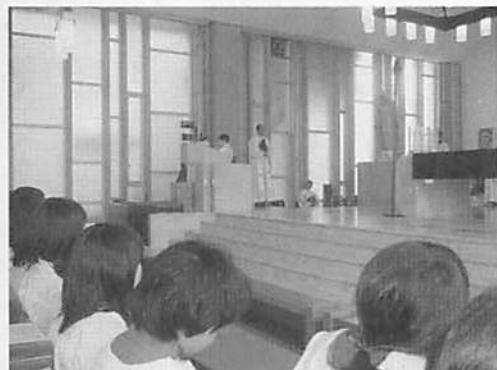
教会 唐崎教会

ある信徒の生涯

昨年、久居教会で一人の信者が亡くなられた。Iさん、享年七十七才。誠実でもの静かな性格、あまり教会の人との交わりもなく、一般的の参列者も少ない葬儀であった。

ところが弔電、弔辞の言葉で私のIさんへのイメージが一変した。それは子供たち、正確にいえば、教会所属の保育園の園児やお母さんたちからのIさんへの感謝の言葉であった。それは子供たち、正確にいえば、教会所属の保育園の園児やお母さんたちからのIさんへの感謝の言葉であった。

自立たず宣教を実践されていましたIさんの生き方は、今、共同宣教司牧の宣教に取り組む我々に学ぶべき道筋を残された。



三月二十五日から二十七日まで、「主よ、あなたの呼ぶ声が聞こえてくる」をテーマに、洛星の宗教研究館を会場にして小学生侍者合宿が行われました。参加者は、小學生四十二名（女子十名、男子三十一名）奉仕スタッフ十七名でした。

侍者の心得と基本についての講話、そして実際の侍者練習、聖書の朗読練習と書写、御室八十八カ所の遠足、女子カルメル会での祈りの時とシスターたちとの交流、そして、二十七日の聖香油ミサでの奉仕。

こうしたプログラムを通して、子供たちは、祈りの心で奉仕する

歩くスピード、見るところなど、練習していろいろ自分で考える勉強にもなりました。とても話しづらかった同じへやの女の子とも、友達になれうれしかったです。二日目には、お室八十八カ所、まわりました。三ばんのAとBに分かれて行きました。ガタガタ道や、くだり坂、のぼり坂があつておもしろかったけどとてもつかれました。八十八カ所をまわりましたときは、気持ちよかったです。そのあとは、カルメル会修道院というシスターの人たちだけが、い

瀬戸優希子（草津教会）
わたしは、侍者の練習をするため、この三日間参加してきました。一日目には、八時くらいにおみ堂に入り、晩のいのりをしました。そこで侍者の心得といつも祈りの心を持っていることを、教えてもらいました。侍者の練習の時、歩くスピード、見ると

いるそうです。そのシスターたちは、イエス様といつもいっしょにいることを約束したそうです。これからもがんばってほしいと思いました。せんとうに入って、疲れをおとしました。おふろにつかっていると、気持ちよかったです。三日目は、河原町教会でごミサをしました。そのごミサは、聖こう油のごミサです。わたしはごミサでも、前には立たなかつたけど、とてもつかれました。でも、とても祝福をうけて、元気が出ました。いままで教えてもらった侍者の練習を、ほかの教えでも活用できたらいいなと思いました。

青井玲奈（宇治教会）
私は、初めてだったのでもやけに、前キャンプに行ってであつた教子ちゃんにあえたので安心しました。いっしょに勉強して、遊

ることです。そこでおどろいたことは、毎朝五時ごろに起きて十分ごろにねるそうです。それに、一日に七回も、おいのりをされてきた。きんちょうして、いた私に、リーダーが、やさしく手をぎゅっと握りました。「これはきんちょうしないためのおまじないだよ。しなこきゅうして、大きな声でがんばってね。」といってくれたので、落ちついて第二ろう読を読む事ができました。

とても楽しくて、うれしかったです。また来年も来たいです。

ぼくは、この侍者合宿で一番心に留まったことは、侍者の心得です。侍者の心得とは「祈りの心」です。その他もいろいろな事を感じました。一つ、友達が増えた。二つ、心身ともに色々な面で成長した。でもこんなに成長させてくれたのは、リーダーや、シスター、神父さまのおかげだと僕は思いました。

侍者合宿

信仰教育委員会

出来芳久（登美ヶ丘教会）

ぼくは、この侍者合宿で一番心に留まったことは、侍者の心得です。侍者の心得とは「祈りの心」です。その他もいろいろな事を感じました。一つ、友達が増えた。二つ、心身ともに色々な面で成長した。でもこんなに成長させてくれたのは、リーダーや、シスター、神父さまのおかげだと僕は思いました。

んだったのでとても、前よりもずっと仲良しになれました。それと、神父さまがやさしくていねいに教えてくれたので、たくさん覚えました。そしてついに、本番になった時、きんちょうして、いた私に、リーダーが、やさしく手をぎゅっと握りました。「これはきんちょうしないためのおまじないだよ。しなこきゅうして、大きな声でがんばってね。」といってくれたので、落ちついて第二ろう読を読む事ができました。

とても楽しくて、うれしかったです。また来年も来たいです。

ぼくは、この侍者合宿で一番心に留まったことは、侍者の心得です。侍者の心得とは「祈りの心」です。その他もいろいろな事を感じました。一つ、友達が増えた。二つ、心身ともに色々な面で成長した。でもこんなに成長させてくれたのは、リーダーや、シスター、神父さまのおかげだと僕は思いました。

京都教区中学生会 春の合宿報告

去る三月二十六日から二十八日にかけての三日間、高ノ原野外礼拝センターにて教区中学生会春の合宿が行なわれました。参加者は中学生三十名、担当青年リーダー十二名、担当司祭二名でした。合宿は「きっかけ」というテーマで行なわれました。中学生という時期は子供から大人へと成長していく時期の入り口であり、信仰者として自立したキリスト者として養成され始める時期です。中学生は中学生なりに、与えられた信仰を自分の生き方と言葉で表現し、それをまわりの人々に伝えるために、神は何かの出来事を「きっかけ」として与えられます。その「きっかけ」の恵みを三日間の合宿行事を通して、お互いに気づきあい、それを共同体の体験として受け止め合い、そして最後のミサにおいて各自の現実生活に向けて派遣されました。

合宿の企画で大切にしたことは班ミーティングと班別のハイキングと班発表です。班別にテーマを実行することによって、相互に交

換センターにて教区中学生会春の合宿が行なわれました。参加者は中学生三十名、担当青年リーダー十二名、担当司祭二名でした。合宿は「きっかけ」というテーマで行なわれました。中学生という時期は子供から大人へと成長していく時期の入り口であり、信仰者として自立したキリスト者として養成され始める時期です。中学生は

中学生なりに、与えられた信仰を自分の生き方と言葉で表現し、それをまわりの人々に伝えるために、神は何かの出来事を「きっかけ」として与えられます。その「きっかけ」の恵みを三日間の合宿行事を通して、お互いに気づきあい、それを共同体の体験として受け止め合い、そして最後のミサにおいて各自の現実生活に向けて派遣されました。

(青少年委員会担当司祭 福岡 一穂)

流し合いテーマを深めることができます。また班別にミーティングをする時には、まずリーダーが自らの「きっかけ」体験を中学生たちに語り、それを踏まえた上で中学生たちも自分のことをより分かりやすく具体的に話すことが出来たと思います。またハイキングの時は課題があり、それを協力し合って果たしていくことによって、目に見える形で成果が表れるように工夫しました。そして最後のミサの時に班発表が行なわれました。各自の個性と共同体体験と信仰表現がミサの中でも表わされたと思います。

わずか三日間の合宿ですが、中学生たちもリーダーたちも仲間を通して表される神の賜物である「きっかけ」について、お互いに気づきあって深め合うことが出来たと思います。夏も教区中学生会の夏の合宿を自然豊かな所で行なう予定です。その時も参加者全員がキリストの共同体を構成するメンバーとして、神によって育てられる体験をしたいと思います。

<ul style="list-style-type: none"> • Iglesia de KUSATSU 草津教会 Tercer Domingo del mes 2.30 p.m. 第3日曜日、PM 2:30 • Iglesia de NAGAHAMA 長浜教会 Tercer Domingo del mes 2 p.m. 第3日曜日、PM 2:00 • Iglesia de SUZUKA 鈴鹿教会 Tercer Domingo del mes 2 p.m. 第3日曜日、PM 2:00 • Iglesia de KAMEYAMA 亀山教会 Cuarto Domingo del mes 9 a.m. 第4日曜日、AM 9:00 • Iglesia de TSU 津教会 Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00 • Iglesia de YAGI 大和八木教会 Primer Domingo del mes 2 p.m. 第1日曜日、PM 2:00 • Iglesia de NISHI YAMATO 西大和教会 Segundo Domingo del mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00 • Iglesia de YOKKAICHI 四日市教会 Cuarto Domingo del mes 12 a.m. 第4日曜日、AM 12:00
--

京都教区・外国語ミサ

英語ミサ (ENGLISH)

SAHN CHURCH	
Every Sun. 3 p.m.	西院教会 ~PAG~ASA COMMUNITY
Every Sun. 3 p.m.	毎週日曜日、PM 3:00
• FRANCISCAN HOUSE	フランシスコの家
Every Wed. 3 p.m.	毎週水曜日、PM 3:00
• NISHI MAIZURU CHURCH	西舞鶴教会
Every First Sun. 3 p.m.	第1日曜日、PM 3:00
• KUSATSU CHURCH	草津教会
Every Fourth Sun. 2 p.m.	第4日曜日、PM 2:00
• NARA CHURCH	奈良教会
Every Last Sun. 3 p.m.	最終日曜日、PM 3:00
• YAGI CHURCH	大和八木教会
Every Third Sun. 2 p.m.	第3日曜日、PM 2:00
• KORIYAMA CHURCH	大和郡山教会
Every Wed. 3.30 p.m.	毎週水曜日、PM 3:30
• TSU CHURCH	津教会
Every Second Sun. 2 p.m.	第2日曜日、PM 2:00
• YOKKAICHI CHURCH	四日市教会
Every Third Sun. 1 p.m.	第3日曜日、PM 1:00
• SUZUKA CHURCH	鈴鹿教会
Every First Sun. 2 p.m.	第1日曜日、PM 2:00
• KAMEYAMA CHURCH	亀山教会
Every Second Sun. 9 a.m.	第2日曜日、AM 9:00
• MATSUSAKA CHURCH	松阪教会
Every first Sun. 2 p.m.	第1日曜日、PM 2:00

韓国語ミサ (한국어 미사)

京都コリアン・カトリックセンター
第1・2・3日曜日 午前10時

スペイン語ミサ (ESPAÑOL)

Iglesia de FUSHIMI 伏見教会
Segundo Domingo del mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00

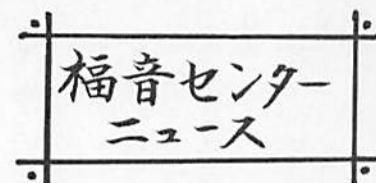
ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

<ul style="list-style-type: none"> • Igreja paroquial do KUSATSU 草津教会 Segundo Domingo do mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00 • Igreja paroquial do HIKONE 彦根教会 Quarto Domingo do mes 11 a.m. 第4日曜日、AM 11:00 • Igreja paroquial do YOKKAICHI 四日市教会 Primer Segundo Domingo do mes 4 p.m. 第1・2日曜日、PM 4:00 • Igreja paroquial do SUZUKA 鈴鹿教会 Todos los Domingos do mes 6 p.m. 每週日曜日、PM 6:00
<ul style="list-style-type: none"> • Igreja paroquial do KAMEYAMA 亀山教会 Primer Domingo do mes 9 a.m. 第1日曜日、AM 9:00
<ul style="list-style-type: none"> • Iglesia de paróquia UENO 上野教会 Tercer Sabado del mes 7.30 p.m. 第3土曜日、PM 7:30

養成コース

第21回

結婚講座



新しい出発のために



この講座では、結婚の意味を社会学的、医学的そして心理学的な側面から学ぶと同時に、聖書と教会の結婚観を通じて人間の一致の基盤にせります。

みなさんの結婚生活を、人間の深い望みである愛の一一致のしるしとするために、共に学びませんか。講座のプログラムは全6回シリーズで、和やかな雰囲気の中でお二人が関わりを体験できるよう組まれています。興味のある方はどなたでもご参加ください。

講座日程

- ①② 7月12日（土） 10：30～15：00
- ③④ 7月19日（土） 10：30～15：00
- ⑤⑥ 7月26日（土） 10：30～15：00

« 参加者の声より »

【夫婦の対話】

- ・コミュニケーションの大切さ、対話形式の体験を通して2人の会話が変化した。

【愛の契約と夫婦の絆】

- ・式次第にそってひとつひとつの動作の意味を聞き、結婚式に対する意識が深まった。

【かけがえのない命・性】

- ・自分の体、パートナーの体、これから生まれてくる赤ちゃんの体に対する気づかいの重要性を改めて感じた。

【キリスト教的人間観】

- ・マザーテレサの「身近なことに対して献身的であること」が、本当の心の豊かさだと実感。

【結婚生活の体験を通して】

- ・「仕事を続けられたのは、家族の理解と協力のおかげ」の言葉に共感。
- ・二人で自分達の歴史を創るのだと思うとワクワクしてきます。

申込み 6月30日（月）迄に！ 郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、

参加費 10,000円（昼食付き）を下記へお振り込み下さい。

郵便振替口座番号 01010-4-26984

「カトリックきょうと福音センター結婚講座」宛

お問い合わせ ☎604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

電話番号 075-822-7123 FAX 075-822-7020

Eメール fukuin@kyoto.catholic.jp



天にあげられ、神の右の座につかれた。(マルコ16・19)

(主のご昇天)

教会の時代、わたしたちの時代へ

わたしたちの人生の苦しみのひとつに、親しく生活を共にした人との別れがあります。教会がまもなく祝う「主の昇天」は、弟子たちにとってはイエスとの決定的な別れの時でした。復活された主との再会の喜びもつかのま、弟子たちはまたイエスとの別れを体験しなければなりませんでした。けれどこの「昇天」とそれに続く「聖靈降臨」によって、典礼の暦は復活節から年間へと移行します。言い換えると、イエスの姿がこの地上から消える「主の昇天」を期して、聖靈の時代、教会の時代が始まるのです。それはイエスから証人として送り出される弟子たち、ひいてはわたしたちの時代に他なりません。ですからイエスが天にあげられていくのをただボケンとながめているだけでは、「なぜ天を見あげて立っているのか」(使1・11)ともどかしがる天使の言葉を聞くことになるでしょう。出かけて行きなさい、出かけて行ってあなたたちが見たこと、聞いたこと、触れたことを人々に伝えに行きなさい、天使はそう言いたかったのかもしれません。イエスが見えなくなった今、主役は聖靈とともに送り出されるわたしたち自身なのですから。イエスもまた「わたしが去っていくのは、あなたがたのためになる」(ヨハネ16・7)と語っておられたではありませんか。

イエスが明かす神の素顔

ところでこの昇天についてマルコ福音書では、「イエスは…天にあげられ、神の右の座につかれた」(16・19)と記しています。この記述は、イエスが捕らえられ、最高法院で「お前はほむべき方の子、メシアなのか」(14・62)と大祭司から尋問された際に、「そうです。あなたたちは、人の子が全能の神

の右に座り、天の雲に囲まれて来るのを見る」(14・62)と答えたことに関連しています。わたしたちにとっては多少不可解な言葉ですが、聖書を知り尽くしていた当時のユダヤ人にとっては冒とく以外の何ものでもない、明確な「神」宣言でした。イエスはそれまで隠しておられたご自分の本当の姿を、それを明かせばもっとも危険なときに明らかにされます。まさに火に油を注ぐ行為でした。主はその結果をはっきりと見据えておられたに違いありません。けれど、権力者の前にまったく非力な姿をさらしたときこそ、神がご自分の素顔を見せられるもっともよいときなのかもしれません。ご復活も昇天も神の至高の力が世界のあらゆる悪意に勝ることのあかしながら。



集会司式者、聖体奉仕者任命

(任期は四月一日から一年間)

【京都南部地区】

河原町	集会	八名、聖体	六名	岩瀬
桂	集会	六名	聖体	集会
北白川	集会	四名、聖体	五名	三名、聖体
衣笠	集会	七名、聖体	十名	二名
宇津	集会	一名	聖体	二名
山国	集会	五名、聖体	六名	三名
九条	集会	一名	聖体	五名
宇野	集会	七名、聖体	十名	五名
小山	集会	五名、聖体	六名	五名
西院	集会	一名	聖体	六名、聖体
高野	集会	七名、聖体	二名	三名、聖体
西陣	集会	六名、聖体	二名	三名、聖体
伏見	集会	三名、聖体	十名	五名
桃山	集会	五名、聖体	七名	七名
眼科	集会	一名、聖体	二名	五名、聖体
宇治	集会	六名、聖体	二名	五名、聖体
丹波	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
田辺	集会	五名、聖体	二名	五名、聖体
青谷	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
精華	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
長岡	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
綾部	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
福知山	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
報恩寺	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
東舞鶴	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体
宮津	集会	二名、聖体	二名	五名、聖体

岩瀬 加悦 網野 集会 集会 二名、聖体 三名、聖体 二名

丹後大宮集会 峰山 集会 六名、聖体 五名、聖体 三名

唐崎 大津 集会 五名、聖体 五名、聖体 三名

安曇川 草津 集会 三名、聖体 五名、聖体 三名

彦根 長浜 集会 四名、聖体 五名、聖体 三名

彦根 長浜 集会 二名、聖体 七名、聖体 三名

草津 集会 三名、聖体 五名、聖体 三名

彦根 長浜 集会 三名、聖体 七名、聖体 三名

彦根 長浜 集会 二名、聖体 五名、聖体 三名

彦根 長浜 集会 二名、聖体 五名、聖体 三名

— 信仰共同体を体験しよう —
聖体奉仕者学習会

・共同体は『社会の福音化の拠点』
・「神の民」教会共同
・キリストで養う「みことば」と「聖体」

・「みことば」で養われる「神の民」
は、三月十九日(土)午後二時か
ら五時まで河原町教会聖堂を中心

に二百八名の参加で行われました。

はじめに聖堂において、大塚司
教の講話を一時間ほど聞いた後、
初めて聖体奉仕者に任命された人

は聖堂で奥村師から、聖体奉仕者
の更新者は河原町カトリック会館

の六階ホールで北村師から、集会

司式者は教会地下会議室で村上透

磨師から、それぞれお話を分かち
合いで熱心に学習を進めました。

は聖堂で奥村師から、聖体奉仕者
の更新者は河原町カトリック会館

の六階ホールで北村師から、集会

司式者は教会地下会議室で村上透

磨師から、それぞれお話を分かち
合いで熱心に学習を進めました。

全員への大塚司教の講話

テーマ I 信頼共同体を体験し
よう

・今年の努力目標は、「信仰共同
体」を体験する

・教会が「共同体」である理由
・「共同体」が福音化される

・信仰生活での「共同体」体験の
意味

・「共同体」は『人間的・信仰的
成長の場』一分かち合いをとお

して—

まとめ

教会は、

・キリストの血によって獲得され、
主によって集められ、

・みことばによって養われている

・神の民であり、

・全人類家族の祈りを神に向ける

・使命を受けた民、

・救いの神祕のために、キリスト
において感謝しながら、

・そのいけにえをささげる民、

・キリストのからだと血を受ける

ことによって一つに結ばれる民
である。

・この神の民は、その起源におい
て聖であるが、

・感謝の祭儀に、意識的、行動的、
効果的に参加することによって、

・聖性の中で成長し続ける。

こんにちはシスター

聖ドミニコ宣教修道女会
園部修道院

(写真右から)
寺尾、松尾、日野、野本、小西



新緑の美しい園部修道院から、御挨拶いたします。私たちの修道会は、一九五一年当時の古屋司教様から既にあった女子高を引き受け、キリスト教の精神で女子を教育することを要望され当地に参りました。現在日本には、大学一、短大一、高等学校三、幼稚園七の教育施設、病院、特別養護老人ホームがありますが、その中で最も小さい共同体の一つです。

「京都聖カタリナ女子高等学校」と「聖家族幼稚園」と同一敷地内に修道院があり、シスター松野は修道院の責任と地域への宣教、丹

波教会の集会司式者として奉仕しております、シスター日野は、幼稚園に、シスター野本、シスター小西、シスター寺尾は高等学校で教育を通して奉仕しています。

「聖ドミニコ、聖カタリナってなんだね、キリスト教かね」とよく尋ねられます。聖ドミニコは十三世紀に生き、「真理を観想し、そのみのりを他に伝える」という根本精神をもった修道会を設立しました。これは、「神と隣人を愛せ」というキリストの教えを表したもので、この聖ドミニコ会の精神を生きた模範者の一人がシェナの聖女カタリナです。

この、素晴らしい先輩達を慕い今に生きようとしている私達は、多くの聖者の重圧をものともせず「恩寵は自然を破壊しないで完成させる」という聖トマスのことばを信条とし、形にはまらない個性を未だ持ち続けています。

ところで一人を除いた四人は共に身長が低いという共通性があります。ある日生徒の一人がいいました。「シスターになるには、背が低くなければならないのか」と。外見と中身は違いますので、どこかでお会いすることがございましたら、お声をかけてください。

福祉の窓

「聖ヨゼフ整肢園」 肢体不自由児施設

聖ヨゼフ整肢園は、一九六三年十二月にウイチタ聖ヨゼフ修道会のシスターによって始められ、神様の恵みと、地域の皆様に支えられて今年四十周年を迎えたました。

肢体不自由児施設は、障害児福祉施設の機能と、医療法に基づく病院としての診療施設機能を併せ持った施設です。

福祉施設としてはそれぞれの障害に適した療育、発達・成長・日常生活活動の自立等を行い、診療機能は疾病的診断治療、訓練等を外来診療、入院診療で行っています。

特徴として創立当初よりキリスト教会、特にカトリック教会のご婦人、地域の方々の心豊かなボランティアに助けられ、支えられてきました。現在も百名以上の会員の皆様が毎日活動し暖かな雰囲気で施設をつぶんでめざして歩み続けます。



リテーション施設機能を活かして一般整形外科、脳血管障害による障害者の方々に専門の機能訓練・言語訓練等を行っています。

社会福祉法人 聖ヨゼフ会は、

①キリストの愛を持って人類に奉仕する、②キリストの教えに従って一人ひとりの生命と人権の尊重、③専門の知識と技術をもって地域医療・福祉の向上に貢献、を基本理念に「聖ヨゼフ整肢園」の他、「麦の穂学園」・「ひばり学園」・「くぬぎ」などを運営しています。

私たちは「いと小さき者の一人にしたのは、わたしにしたのです」(マタイ25)のみ言葉を心の糧とし、皆様に支えられるがよりよい福祉・医療施設をめざして歩み続けます。

お
知
ら
せ

修道会から

福音センターから

◆病人訪問－研修会－いやされる
かかわり－20日(金) 15時～22日

(日) 15時 宝塚默想の家 講師
沼野尚美氏と福音センタースタッフ
申込み6日(金)までに

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読14日(土)

10時 北村善朗師 場所 河原町
会館六階 費用二千五百円(昼食
代を含む)、持参品 聖書・筆記
用具・ノート(お申込みは3日前
までに) ▼聖書講演会29日(日)
13時半 国井健宏師 河原町教会
地下ホール

地区協議会から

◆聖書講座シリーズ「マルコ福音
書を読む－イエス・キリストの秘
密－」4・5日中川博道師、11・

12日来住英俊師、18・19日九里
彰、25・26日新井延和師

◆信仰教育委員会▼青年のための
聖書深読－わたしにとってキリスト
とは誰か－28日(土) 17時～29
日(日) 16時 宇治カルメル黙想
の家 費用四千八百円 申込 宇
治教会FAX0774(24)4
329 北村まで

プロック・小教区から

◆ウイチタ聖ヨゼフ修道会▼默想
会「生ける神に向かって」14日
(土) 14時～15日(日) 16時 場
所 本部修道院(竜安寺前) 指
導 リチャード師(大阪教区)

対象 共に祈りたい未婚の女性の
方 費用 千五百円 申込み・問
合せ 10日(火)までに電話07
5(462)0754 Sr山本、

Sr氏家まで

◆京都女子カルメル会修道院▼講
演－生ける神のみ前に立つ－とミ
サ28日(土) 13時半講演、ミサ15
時 中川博道師▼カルメル山のミ
サ7月16日(水) 15時 中川博道
師

Q 福音の前に三つの小さな
十字を切らなくなつたのはな
ぜですか。

A 祈りの姿勢にはひざまずく、ひれふす、立つ、といつ

たものがあるでしょう。また

歌つているときに一番よく祈

れるという方もいらっしゃる

でしょう。自分が最も集中で

とはを発する口と心をつかさ

どる胸に祝福、もしくは清め

を願つてのことです。したがつ

て会衆が行う必要はないと思

われます。福音を聴く動作と

して既にそこに集まつた信徒

は立ち上がっていいます。それ

で十分でしようが、もし個人

的に心構えをつくる必要を感

じるならば、普段行つてゐる

大きな十字を切るのもいいで

しょう。しかしそれはこうし

たものではありません。あく

その共同体の一致をより深く

常生活の中で一人一人が模索

していくべきなのです。しか

し、個人的な祈りとは違い共

同体的性格を持つてゐる教会

の典礼、特にミサにあつては

その共同体の一一致をより深く

味わい、表現していくことが

求められています。日本のミ

サの場合、文化的に見てひざ

まずくという習慣はないとい

う理解の下、従来ひざまずい

ていた部分を「立つ」という

動作にするよう勧められて

ます。キリスト者の共同体と

して神への賛美と感謝をいか

にふさわしく表現することが

できるのかを各共同体で真剣

に模索していただきたいと思

います。

◆滋賀地区湖西ブロック▼ユニセフ支援チャペルコンサート 29日

(日) 午後2時 場所：大津教会
聖堂 (JR膳所駅徒歩3分) 主催：
湖西ブロックチャペルコンサート
実行委員会 主旨：ユニセフを通じて、収益を世界の恵まれない子供たちのために寄付します。

入场料：大人千五百円、子供(小学生) 千円

教育関係施設から

◆聖母学院小学校▼創立記念日・聖母月の祈りの集い 3日(火)

◆聖母教育文化センター▼日曜巡礼の旅・近畿のキリストの遺跡 8日(日) 14時15分 集合場所 近鉄大阪線大三駅 巡礼指導者 三俣俊二名譽教授

諸施設・諸活動から

◆JOC▼働いている青年の集い 京都働く人の家(九条教会前)、滋賀働く人の家(大津教会裏) 問合せ090-(8207)-1831

◆京都カナの会▼結婚相談室・例会 1日(日) 13時半 河原町会館

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日8日(日) 14時、28日(土) 19時 河原町会館六階 ◆京都キリスト研究会▼定例会

22日(日) 14時 河原町会館六階 ホール

◆コーエロチエレスティ▼練習第2、第4、第5木曜日10時～12時

河原町会館六階ホール

◆在世フランシスコ会▼京都兄弟会14日(土) 13時半 フランシスコの家

◆聖ヴィンセンティオ・ア・パウロ会▼河原町協議会8日(日) 13時半 河原町教会▼京都中央理事会

22日(日) 13時半 河原町教会

◆二金会▼第二金曜日10時15分場所 西陣教会

◆糠みその会▼例会26日(木) 19時45分 九条教会ホール

◆レジオ・マリエ▼コミチウム15日(日) 河原町会館六階

◆おでんとうさんの会 (精神障害者の方のたまり場を提供しています。ボランティアの方もどうぞ)

27日(金) 13時 西院教会

◆「一万匹の蟻運動」基金報告 累計三三七、七八二、一三四円 (四月十五日現在)

◆教区合同洗礼忘願式 3月9日(日) 14時半から河原町教会で七十名の志願者を迎えて行われ、多くのご援助、ご奉仕をいただきました。どうもありがとうございました。

その他優れた注解書も、カトリック、プロテスティントを問わず出版されております。もう少し学術的(?)とも言えるものに、

良書紹介

講座「マルコ福音書を読む」のためにいくつかの参考書を紹介します。

聖書講座が始まりましたので、良くイエスの歴史的背景を伝え、また人間イエスの関心が、最近深まって来たことによるのです。

まず全体の構成については、ドロールム『マルコス福音書の読み方』(中央出版)があります。

（あかし書房）があります。ホアンマシア『聖書を開いて』

福音書の構造の中に、大切な福音のメッセージが隠されているのです。今年の聖書講座のテーマ選びも(それを考慮して)選ばれています。

さて数ある注解書の中から(大きな注解書を除いて)案外手近なものは、もう古典的ともなった

バルバロ『聖マルコ福音書注解』(ドン・ボスコ)

パークレイ『マルコ福音書』(ヨルダン社)等があります。

しかし、マルコ福音書を読むとあてはまれが起る。

その理由は、まず、マルコ福音書を「こま切れ」にして読むことから起る。

また私たちはマタイ福音書に慣れていて、ある種の先入観に捕らわれていることによる。

マルコ福音書のイエス像は、簡潔明快だと思ってしまうのです。しかし、むしろイエスは謎と秘密の人物である。イエスを明確に信仰告白するのは、十字架の下にある百夫長である。

ともあれこの講座を通して、この謎の人物(キリスト)に体当たりしてみたい。そこでマルコ福音書を理解するために絶対必要なことは、全体的構成を見出すよう努めることである。

(ドロールム『マルコス福音書の読み方』)

L・ウイリアムソン『マルコによる福音書』(現代聖書注解、少し高価)があります。

マルコ福音書は、最近人気を取り戻して来たと言われます。

それはマルコ福音書が、一番良くイエスの歴史的背景を伝え、また人間イエスの関心が、最近深まって来たことによるのです。

大塚司教の

6月のスケジュール

1日(日)奈良ファミリー・デーミサ 野外礼拝センター	13時半	29日(日)河原町ミサ(司教靈名) 議会14時
4日(水)中央協機構改革委員会15時	10時半	青少年担当司祭交流会18時
5日(木)中央協 常任司教委員会 10時	10時半	28日(土)第16回教区カトリック協 議会14時
東京カトリック神学院常 任委員会15時半	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
8日(日)河原町 堅信ミサ14時 10日(火)~12日(木)大阪管区 司 祭研修会	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
13日(金)~14日(土)聖書講座(奈 良)	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
15日(日)司教ブロック訪問(宇治 教会)	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
16日(月)~20日(金)定例 司教総 会	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
22日(日)司教ブロック訪問(上野 教会)	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
23日(月)女子カルメル修道院訪問 14時	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
24日(火)教区カトリック学校連絡 会14時	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
25日(水)教区幼稚園連盟 園長会 10時半	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
教区協議会書記局会議18時	10時半	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時

お詫びして訂正いたします。

編集部から

◆お詫びと訂正

306号(5月号)6ページ福
音センター養成コース案内

タイトル 誤「病院訪問I」

正「病人訪問I」

締切 誤「4月30日(水)」

正「6月6日(金)」

奈良地区聖書講座
奈良地区の方にも参加いた
だけるよう、聖書講座が六
月から第二、四土曜日昼及び
その前日夜、奈良教会で行わ
れることになりました。お問
い合わせは、電話0742
(52)5106 Sr.日宇まで
お願いします。



青年センター専従ごあいさつ

も嬉しく思っています。

私は、大学で声楽の勉強をし
ていました。そして今も、良い
演奏家になるということが私の
一番の夢です。まだまだ勉強を
で、専従者として働くことにな
りました。柳原朋子です。

私は、中学生の時から京都教
区の合宿や、広島体験学習など
に参加して、とても楽しい体験
をさせていただき、神父様方や、
たくさんの人達にお世話になっ
ていました。

初めて青年センターに来た時
からもう十年がたちます。その
ころは、専従という仕事がある
なんて全然知りませんでした。
優しくておもしろいお兄さん・
お姉さんがいて、毎週日曜日に
教会でお会いする神父様とは少
し違ったひょうきんな(?)神
父様がいたりして、ただただ楽
しかったことを覚えています。

大学生になってからいろいろ
と忙しくなり、青年センターに
来る機会が少なくなっていました
が、私と同世代の友人たちが
中心となつて、今の青年センター
を支え、リーダーとして活躍し
てくれていることを、私はとて

これから一年、演奏活動もあ
り、すごく忙しくなると思いま
すが、私らしい専従者を目指
したいと思っています。

青年センターあんてな

お姉さんがいて、毎週日曜日に
教会でお会いする神父様とは少
し違ったひょうきんな(?)神
父様がいたりして、ただただ楽
しかったことを覚えています。
大学生になってからいろいろ
と忙しくなり、青年センターに
来る機会が少くなっています
が、私と同世代の友人たちが
中心となつて、今の青年センター
を支え、リーダーとして活躍し
てくれていることを、私はとて

柳原朋子